

# 千葉銀行会社説明会

— 個人投資家の皆さまへ —

CHIBA BANK

地域と、全力。



平成24年2月  
株式会社 **千葉銀行**  
(東証第1部：8331)

## ≫ 成長性に富む千葉県

千葉県の成り立ち	3
更なる成長余地	4
千葉県が誇る特産品	5

## ≫≫ 千葉の成長と共に歩む千葉銀行

千葉銀行の歩み	7
千葉県内金融機関シェア	8
千葉銀行の店舗網	9

## ≫≫≫ 千葉銀行の営業施策

成長を続ける「広域千葉圏」	11
成長業種への対応強化	12
投資型金融商品の販売拡大①	13
投資型金融商品の販売拡大②	14
ちばぎん証券の完全子会社化	15
東日本大震災後の取り組み	16
地域貢献活動への取り組み	17

## ≫≫≫≫ 業績推移と株主還元

安定した収益力	19
高い健全性	20
株主還元①	21
株主還元②	22

## ≫≫≫≫≫ 参考資料

≫ 成長性に富む千葉県

≫ ≫ 千葉の成長と共に歩む千葉銀行

≫ ≫ ≫ 千葉銀行の営業施策

≫ ≫ ≫ ≫ 業績推移と株主還元

≫ ≫ ≫ ≫ ≫ 参考資料

# 千葉県の成り立ち

## ■「安房」「上総」「下総」の由来

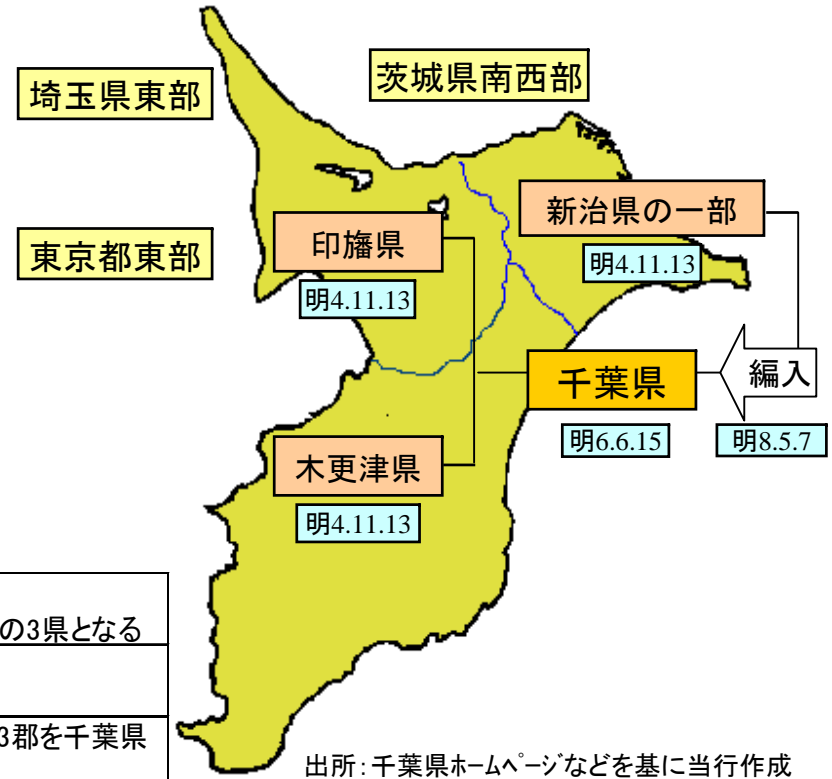
- ・「古語拾遺(こごしゅうい)」によれば、天富命(あめのとみのみこと)により率いられた阿波斎部(あわのいんべ)が、麻を栽培して成功。その肥沃な地が「総(ふさ)の国」と呼ばれ、斎部の居住地は阿波の名をとって安房郡と名づけられた。
- ・西国からの移住が海岸部から始まったため、半島南部の方が都に近い「上総」、北部が「下総」となった。

## ■「千葉」の由来

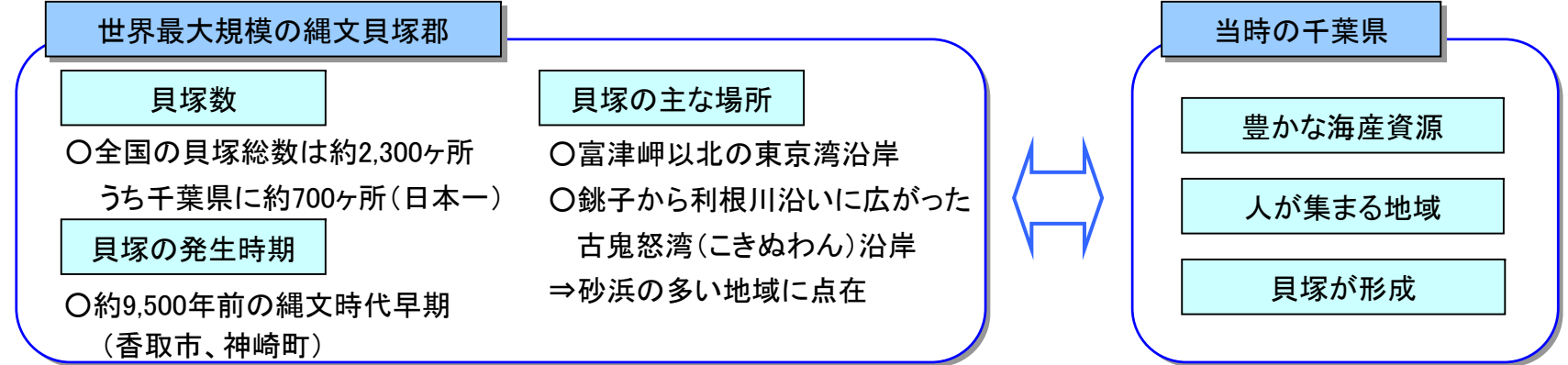
- ・「多くの葉が茂る」の意で、草木が生い茂る原野だったからとも、土地の繁栄を願っての地名とも言われている。

## ■明治時代

明治4年	1871年	廃藩置県により房総に24県が誕生 その後、第一次府県統合により木更津県、新治県、印旛県の3県となる
明治6年	1873年	木更津県と印旛県が統合し千葉県へ 県庁は現在の千葉市中央区本千葉町に設置
明治8年	1875年	新治県を廃止。新治県の一部であった香取、匝瑳、海上の3郡を千葉県に編入



出所: 千葉県ホームページなどを基に当行作成



## 千葉県は大規模な開発プロジェクトに支えられた成長地域

**つくばエクスプレス**  
平成17年8月 開業



柏の葉キャンパス駅周辺

**東京湾アクアライン**  
通行料金引下げ  
(平成21年8月～)



**木更津**  
羽田空港効果  
による産業活性化



### 県内主要開発事業



**成田スカイアクセス**  
平成22年7月全線開通



**成田国際空港**  
発着枠拡大による  
経済効果 約1兆円



**首都圏中央連絡  
自動車道**  
平成24年度開通  
東金IC・JCT - 木更津東IC



# 千葉県が誇る特産品

千葉県は農業産出額は全国3位、海産物漁獲量は全国第5位と全国屈指の農林水産県

## 農産物産出額が全国第1位の商品

出所：農林水産省(平成21年)



**日本なし**  
148億円(18%)  
(市川、白井、鎌ヶ谷)



**枝豆**  
58億円(16%)  
(野田、松戸、船橋)



**しゅんぎく**  
21億円(16%)  
(旭、野田)



**きんせんか**  
3億円(98%)  
(南房総)



**だいこん**  
124億円(23%)  
(銚子、旭、松戸)



**かぶ**  
44億円(31%)  
(柏、東庄、松戸)



**なばな**  
16億円(47%)  
(南房総、鋸南)



**ストック**  
10億円(53%)  
(南房総、館山)



**落花生**  
84億円(83%)  
(八街、千葉)



**さやいんげん**  
38億円(14%)  
(市原、袖ヶ浦)



**パセリ**  
9億円(22%)  
(旭)

産出額(全国シェア)  
(県内主要産地)

## 海産物漁獲量が全国第1位の商品

出所：農林水産省(平成21年)



**伊勢えび**  
224トン(17%)  
(外房地域)



**まいわし**  
15,504トン(27%)  
(銚子・九十九里地域)



**かたくちいわし**  
95,449トン(28%)  
(銚子、九十九里地域)



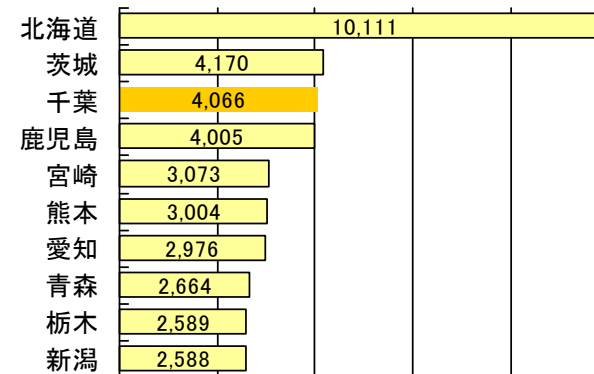
**ぶり**  
10,998トン(14%)  
(銚子・外房地域)



**すずき**  
2,146トン(24%)  
(内房地域、東京湾)

漁獲量(全国シェア)  
(県内主要産地)

農業産出額(単位:億円)  
出所：農林水産省(平成21年)



≫ 成長性に富む千葉県

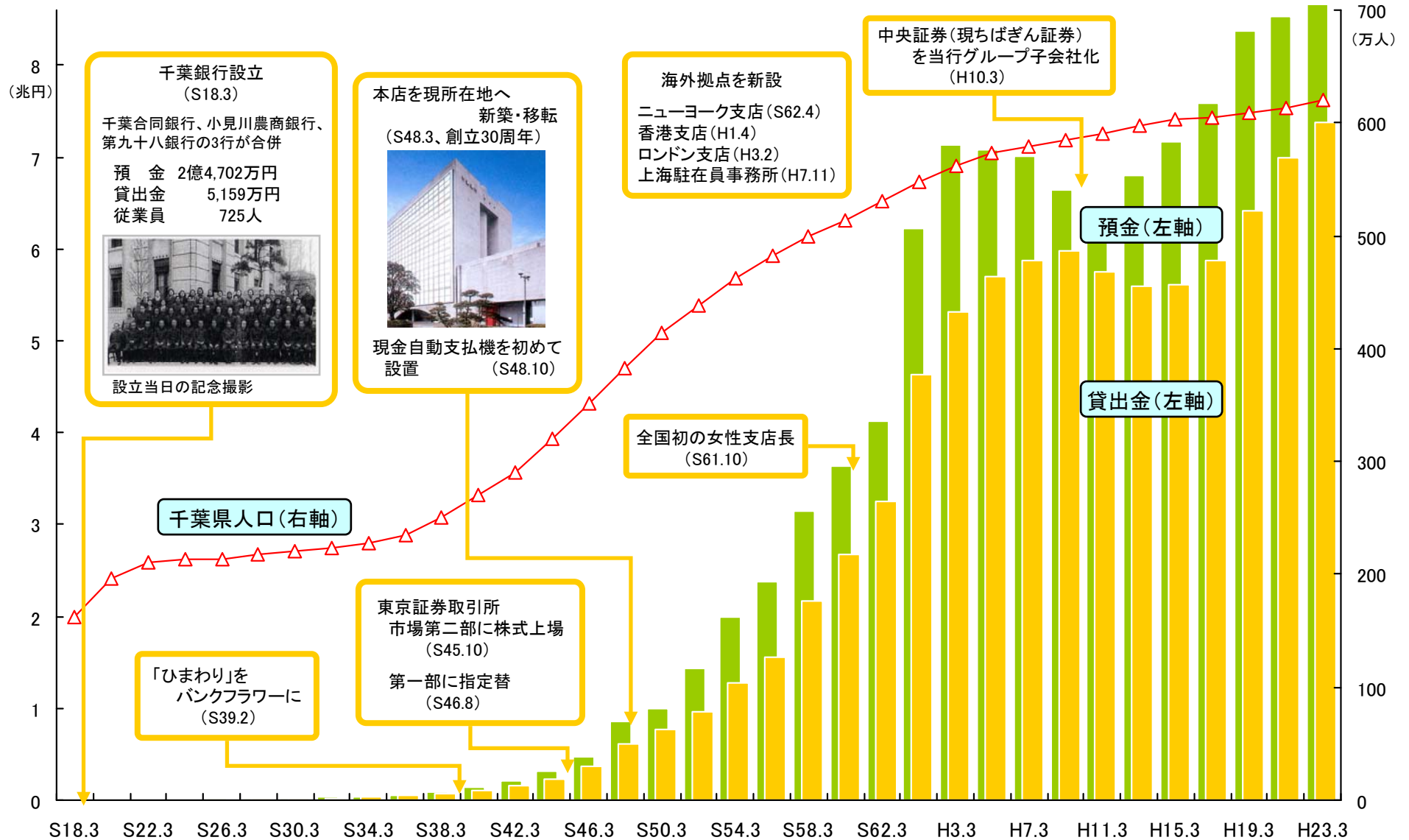
≫ ≫ 千葉の成長と共に歩む千葉銀行

≫ ≫ ≫ 千葉銀行の営業施策

≫ ≫ ≫ ≫ 業績推移と株主還元

≫ ≫ ≫ ≫ ≫ 参考資料

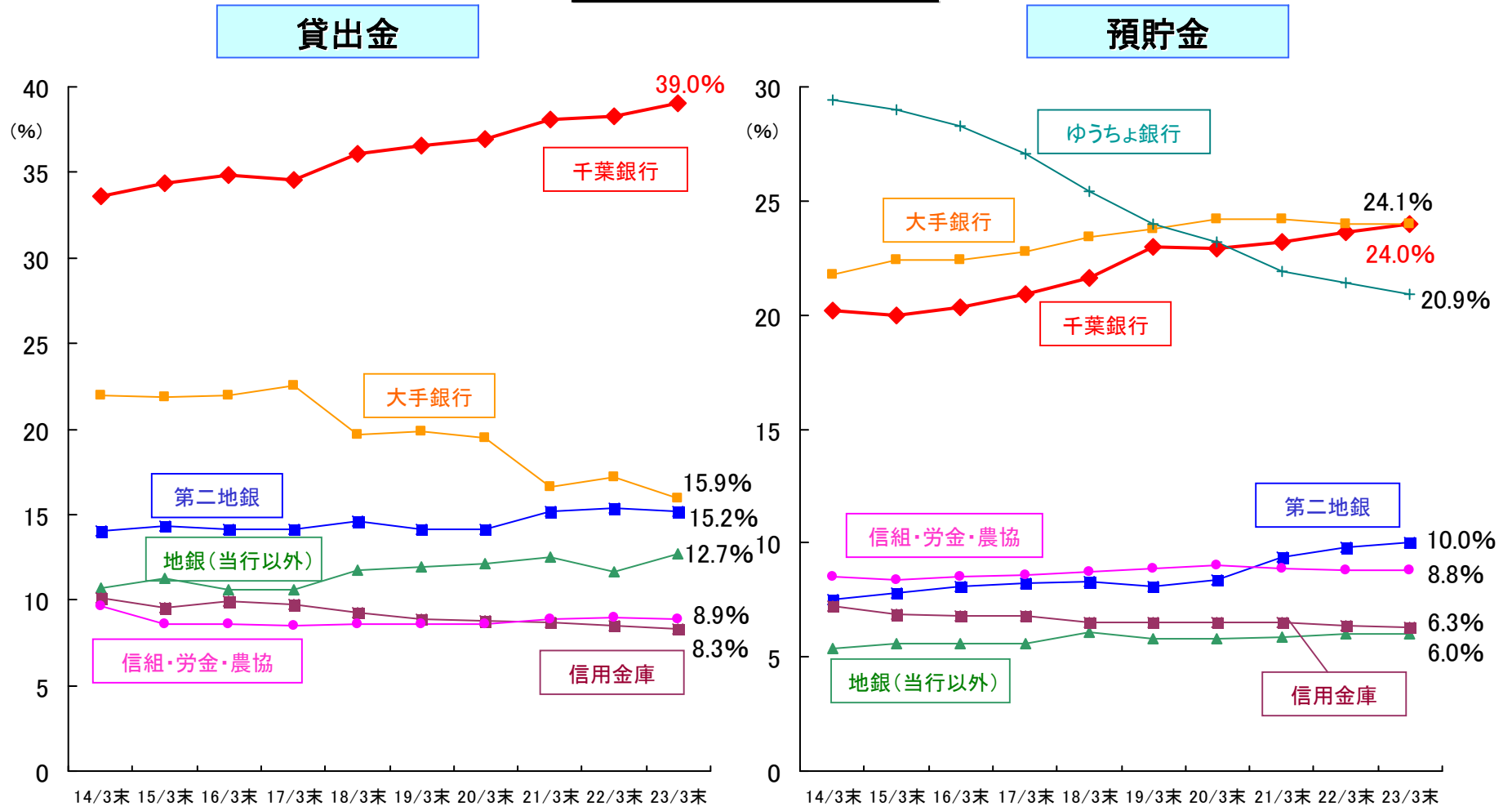
## 「千葉県の人口」と「当行の預貸金残高」





千葉県を中心に強固な顧客基盤を有し、千葉県内シェアは着実に増加

## 千葉県内金融機関シェア



# 千葉銀行の店舗網

千葉県を中心に充実した店舗網を有し、海外にも3支店2駐在員事務所を設置

## 国内174店舗（県内157店舗）



## 海外店舗



ロンドン支店



香港支店



ニューヨーク支店



## 千葉県内の主な銀行の店舗数(23/9末)

	当行	京葉銀行	千葉興業銀行	三菱東京UFJ銀行	みずほ銀行	三井住友銀行
国内店舗数	174	120	72	—	—	—
千葉県内	157	119	71	26	25	22
県外	17	1	1	—	—	—

≫ 成長性に富む千葉県

≫ ≫ 千葉の成長と共に歩む千葉銀行

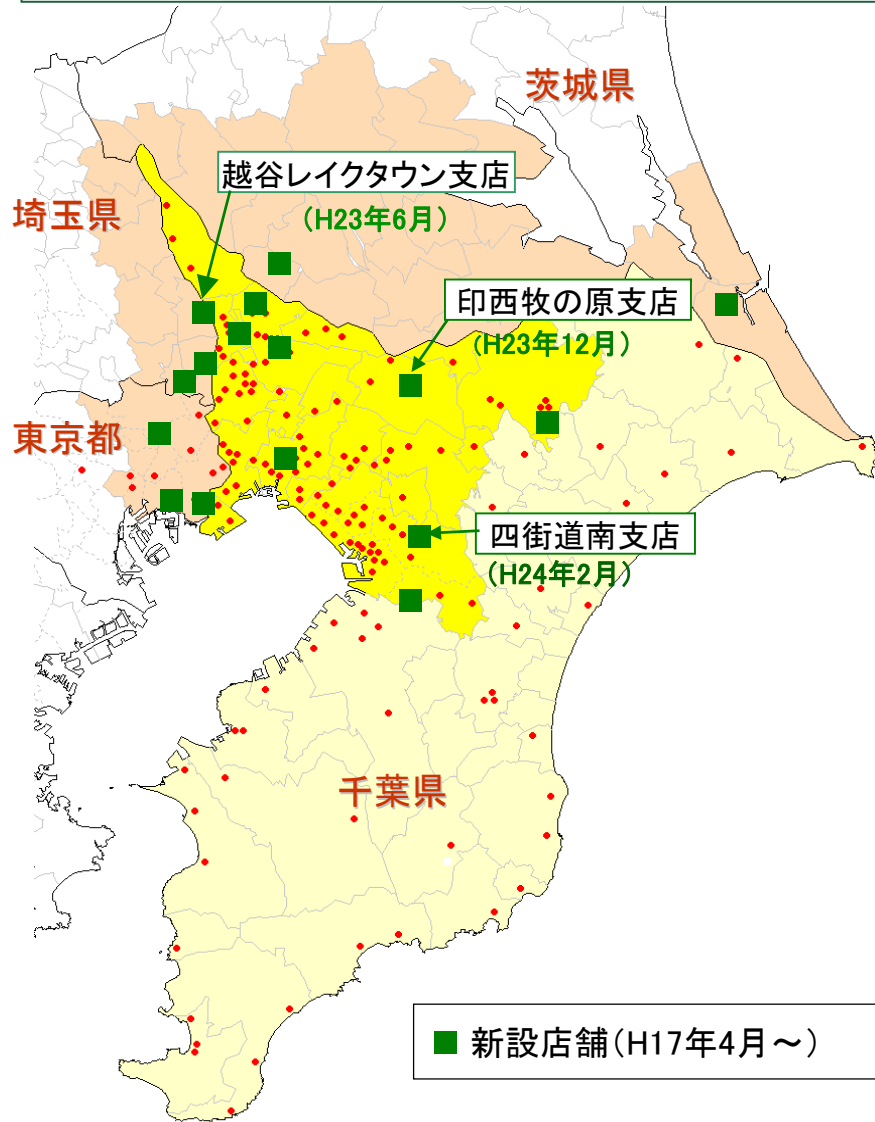
≫ ≫ ≫ **千葉銀行の営業施策**

≫ ≫ ≫ ≫ 業績推移と株主還元

≫ ≫ ≫ ≫ ≫ 参考資料

# 成長を続ける「広域千葉圏」

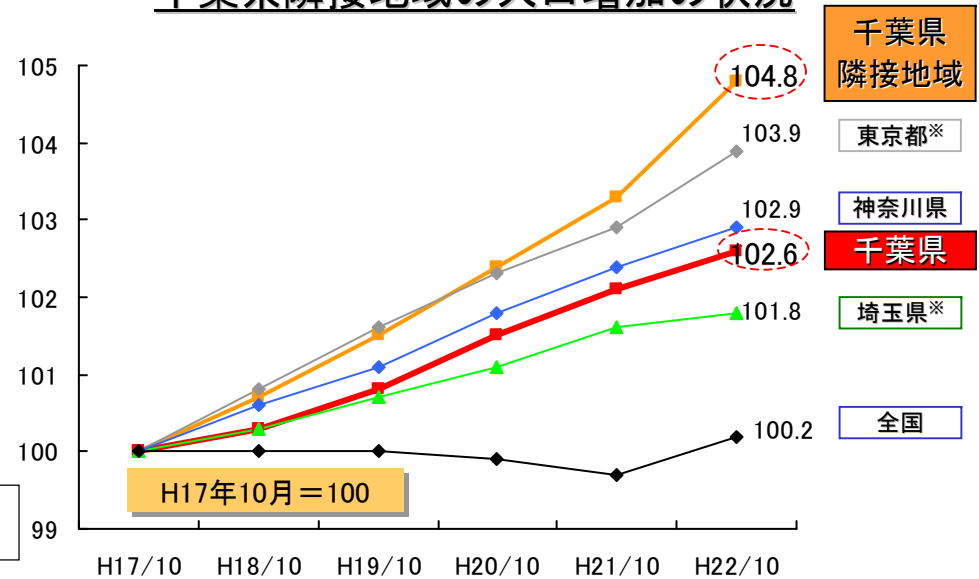
「広域千葉圏」は引き続き成長する魅力的なマーケット



## 広域千葉圏

千葉県 600万人 250万世帯	+	隣接地域 600万人 250万世帯	=	広域千葉圏 1,200万人 500万世帯
------------------------	---	-------------------------	---	----------------------------

## 千葉県隣接地域の人口増加の状況



H17/10 H18/10 H19/10 H20/10 H21/10 H22/10  
 出所:「人口推計」「国勢調査」(総務省)・「毎月常住人口調査」(各都県)  
 ※東京都・埼玉県は千葉県隣接地域の人口を控除して算出

平成22年10月 法人営業のサポート部門として「成長ビジネスサポート室」設置  
 農業、観光、医療・介護、環境、PFI、国際業務、ベンチャーなどの成長分野に専担者を配置し、お客さまをサポート

## 農業

### 千葉県農業の全国的位置

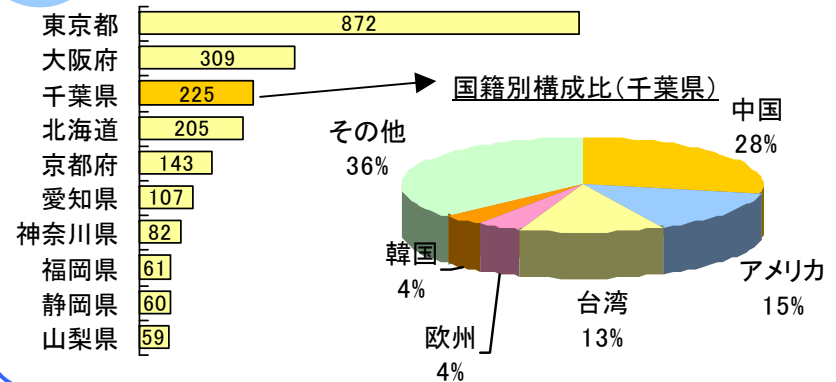
出所:農林水産省(21年)

順位	耕種				畜産		
	米	いも類	野菜	花き	生乳	豚	鶏卵
1	新潟	北海道	北海道	愛知	北海道	鹿児島	茨城
2	北海道	鹿児島	茨城	千葉	栃木	宮崎	千葉
3	秋田	千葉	千葉	福岡	群馬	茨城	鹿児島
4	福島	茨城	愛知	静岡	千葉	千葉	岡山
5	茨城	長崎	熊本	埼玉	熊本	北海道	愛知
6	山形	徳島	埼玉	長野	岩手	群馬	北海道
7	宮城	宮崎	群馬	鹿児島	愛知	青森	広島
8	千葉	熊本	栃木	北海道	茨城	栃木	新潟
9	栃木	静岡	長野	沖縄	宮城	岩手	青森
10	岩手	埼玉	宮崎	茨城	兵庫	愛知	宮城

## 観光

### 都道府県別外国人宿泊者数(単位:万人泊)

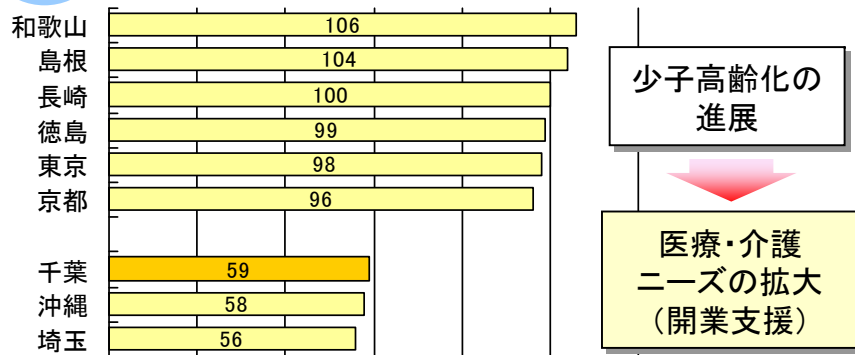
出所:観光庁(22年)



## 医療

### 人口10万対施設数(一般診療所)

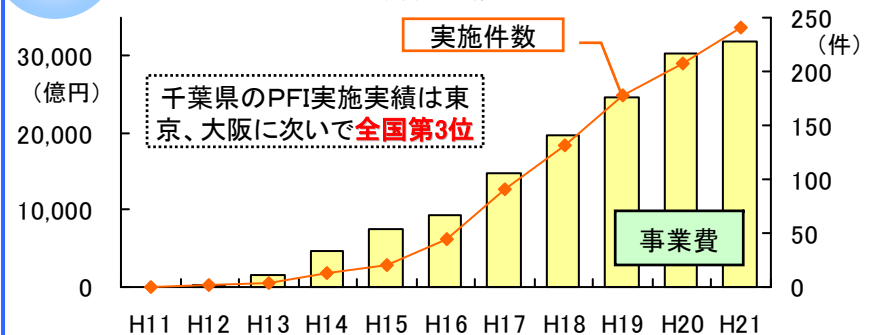
出所:厚生労働省(21年)



## PFI

### PFI※実施件数/事業費

出所:内閣府PFI推進室(21年)



※ PFIとは、公共施設等の建設・維持管理・運営等を民間の資金・経営能力及び技術的能力を活用して行う新しい手法のこと

# 投資型金融商品の販売拡大①

規制緩和に積極的に対応し、お客さまのニーズにそった提案営業を実践

## 《規制緩和への対応》

投資信託	H10/10 銀行窓販解禁	
保険	H13/4 銀行窓販解禁(一次解禁)	
信託業務	H18/6 遺言信託・遺産整理業務に 銀行本体で取扱開始	地銀初

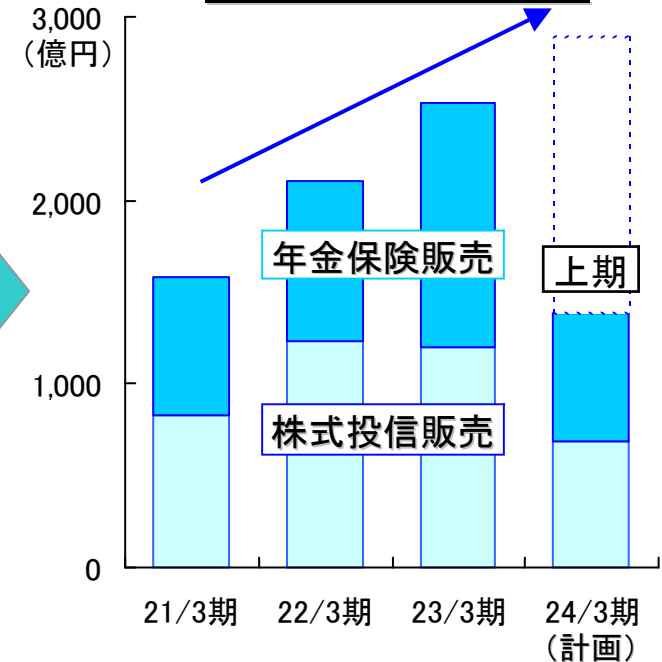
## 《商品ラインアップの充実》

- 投信、年金保険の品揃え → 一時払終身販売額 地銀トップ(H23上)
- 外資系金融機関との提携(ロンバー・オディエなど) → 信託契約額(H23上) 前期比 約3.5倍

## 《販売態勢の強化》

- H17/2~ 金融商品仲介業務取扱開始 (委託証券会社:現ちばぎん証券) → ちばぎん証券 完全子会社化
- コンサルティングプラザ(3店舗)、コンサルティングラウンジ(5店舗)

### 投資型金融商品販売



## コンサルティングプラザ

コンサルティングプラザ 千葉 柏 船橋

- ・各種セミナー開催
- ・休日営業

リニューアル  
オープン  
(H23/10)

### 保障型保険の取組強化

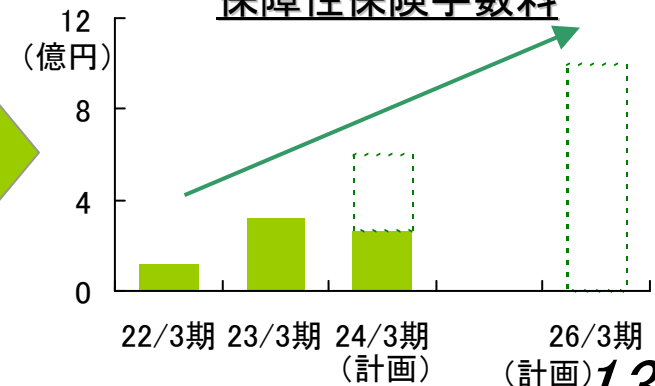
保険担当増員  
2名(H21/9) ⇒ 6名(H22/4) ⇒ 10名(H23/4)

平成24年4月~

銀行保険窓販に係る  
弊害防止措置見直し  
⇒ 研修実施

(H23年度上期)  
営業店の紹介件数 前期比+62%  
保障型保険獲得件数 同+5%  
手数料収益 同+23%

### 保障型保険手数料



お客さまからの相談をお受けする拠点としてコンサルティングプラザを設置

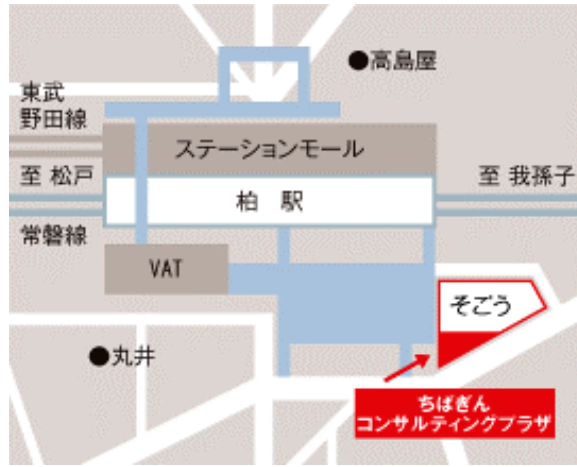
### コンサルティングプラザ千葉



H23/10リニューアルオープン



### コンサルティングプラザ柏

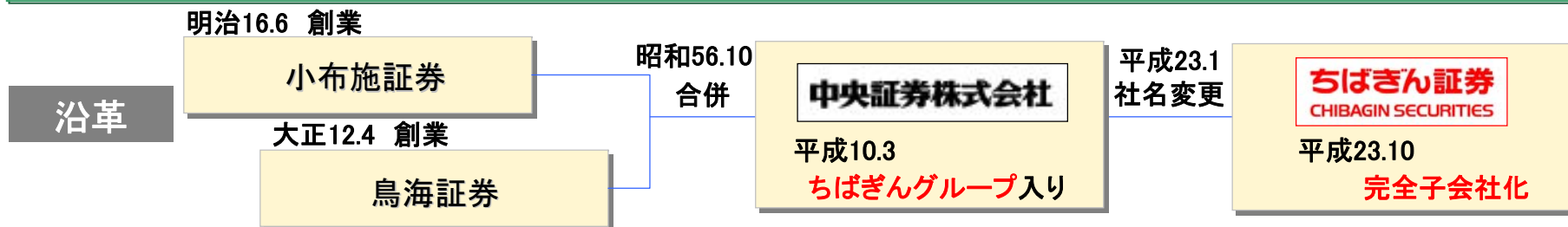


### コンサルティングプラザ船橋



# ちばぎん証券の完全子会社化

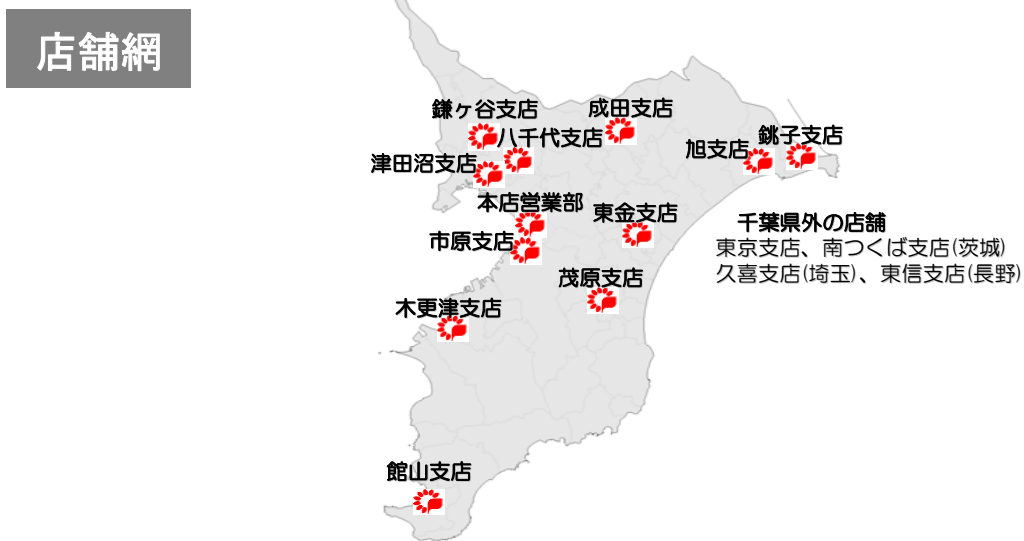
「ちばぎん証券」の完全子会社化により、グループシナジーの実現を目指す



**従業員数** 253名 (平成23/3期現在) ※従業員には臨時従業員(歩合外務員、契約ディーラー、臨時勤務者、派遣社員)含む

<b>業績等</b>	営業収益 3,333百万円	<b>顧客基盤</b>	登録口座数 64,755口座
	当期純利益 28百万円		預かり資産残高 4,443億円
	自己資本規制比率 1,100.2%		

**店舗数** 16店舗 千葉12[県内最多]、東京1、埼玉1、茨城1、長野1



グループ  
シナジー  
の実現



## 被災者の方々に向けた支援、地域活性化に向けた取り組みを実施

### 円滑な資金供給

#### 住宅ローン

- ・既存債務と新規借入の一本化（一本化に併せた期限延長）
- ・元金据置期間の新設（1年間を上限に元金据置）
- ・資金使途の拡大（親族居住用住宅に係る資金）

#### リフォームローン

- ・年齢要件の緩和（融資上限年齢65歳未満 → 70歳未満）
- ・収入要件の緩和
- ・居住用住宅の保有要件の変更
- ・資金使途の拡大
- ・元金据置期間の新設

### 当行内での取り組み

#### 被災地への寄贈

- ・義援金
- ・救援用タオル15,000枚

#### 観光復興

- ・県内宿泊した当行役員に補助金支給 ⇒ 観光復興のため

#### 本支店食堂

- ・本店、支店の食堂で千葉県産品の地産地消（千産千消）を推進
- ・一部メニューを値上げ ⇒ 値上げ分を復興支援のため千葉県へ寄付

### 被災者相談窓口

#### 休日相談窓口

- ・新浦安支店
- ・佐原支店
- ・神栖支店
- ・旭支店
- ・コンサルティングプラザ千葉
- ・コンサルティングプラザ柏
- ・コンサルティングプラザ船橋

#### 平日相談窓口

- ・国内営業店「東日本大震災被災者相談窓口」設置

- ↓
- ・「一般融資」
  - ・「住宅ローン」等に関する相談

### ビジネスマッチング商談会の様子



セブンネットショッピング「商談会」(23/7)



中国主要都市ビジネスセミナー(23/6)



地方銀行フードセレクション(23/11)



「未来を育む」をキーワードに、「ひと」「環境」「産業」の育成に資する社会貢献活動を展開

## 「ひと」の未来を育む

- ・「ちばぎんひまわりコンサート」の開催 (H1～)



- ・「ちばぎんカップ」の開催 (H7～)



- ・千葉大学への冠講座の提供 (H19.4～)



- ・公益信託「ちばぎんハートフル福祉基金」の設立、助成金交付事業 (H21.11～)

## 「環境」の未来を育む

- ・九十九里浜、印旛沼クリーンウォーク活動 (H15～)
- ・富津市鬼泪山、長生郡白子町の森林整備活動 (H15～)



- ・太陽光発電システム導入 (H21.3～)



- ・店舗屋上緑化 (H21.12)
- ・環境対応車の導入 (H23.2～ 電気自動車導入)



## 「産業」の未来を育む

- ・財団法人ひまわりベンチャー育成基金の設立、助成金交付事業 (H10～)



- ・千葉工業大学と産学連携に係る包括協定締結 (H23.1)
- ・「千葉県29大学合同就職セミナー2011」の開催 (H23.6)



- ・「がんばろう千葉観光応援定期預金」の取扱開始 (H23.6)
- ・各種セミナー、商談会の開催

≫ 成長性に富む千葉県

≫ ≫ 千葉の成長と共に歩む千葉銀行

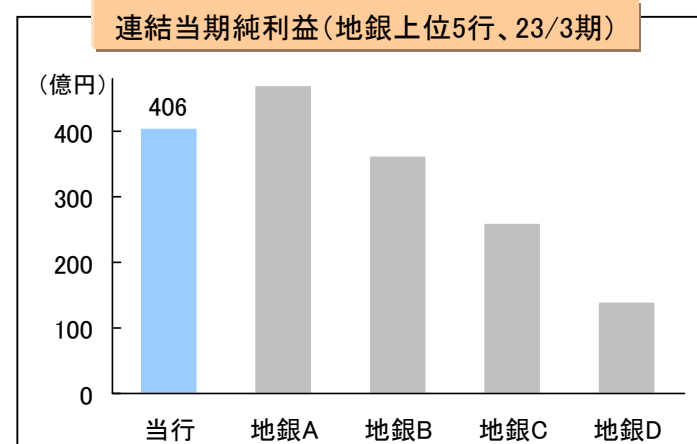
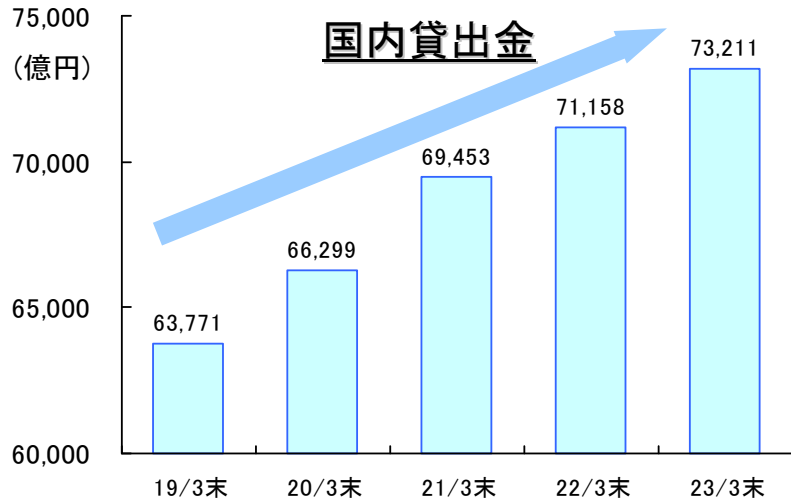
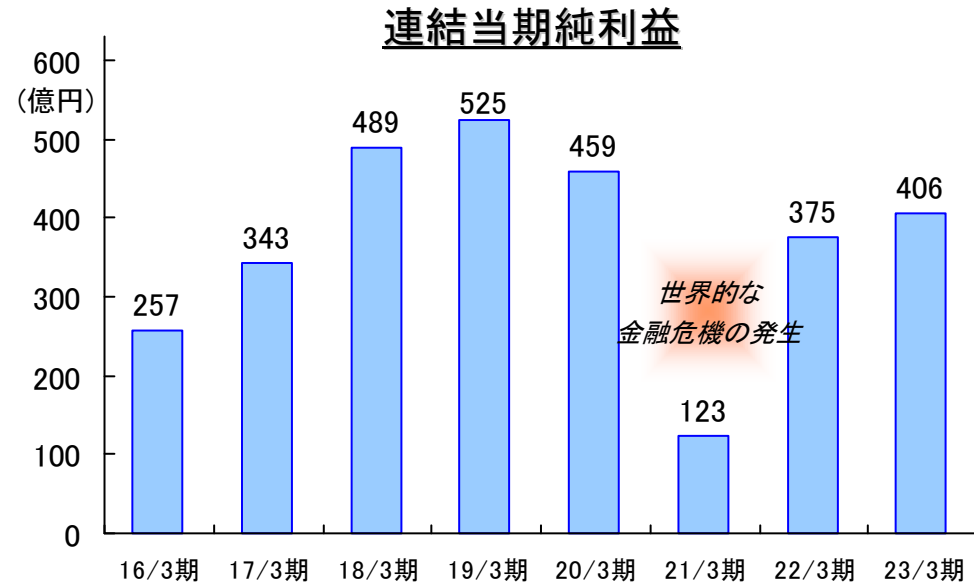
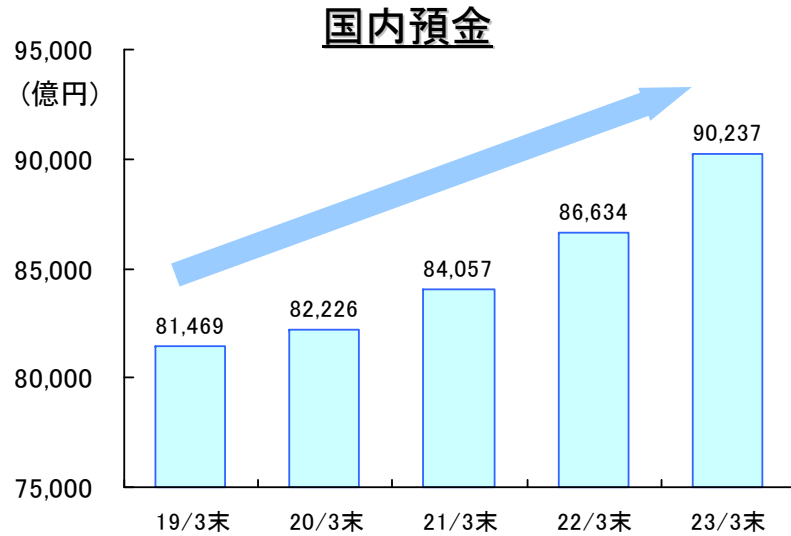
≫ ≫ ≫ 千葉銀行の営業施策

≫ ≫ ≫ ≫ **業績推移と株主還元**

≫ ≫ ≫ ≫ ≫ 参考資料

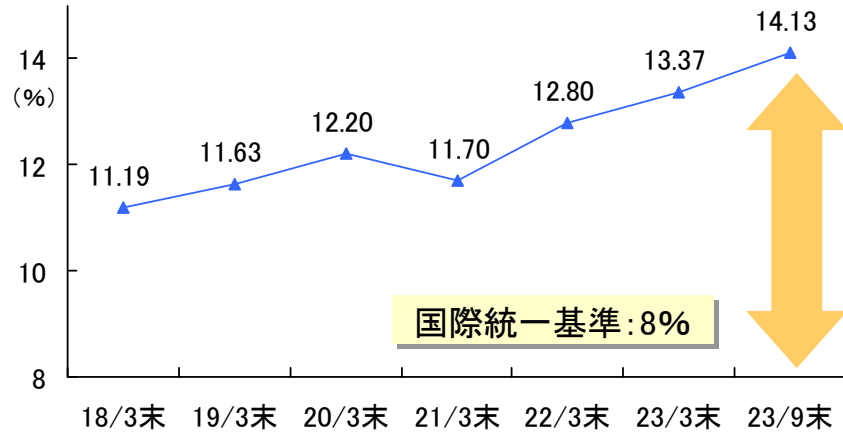
# 安定した収益力

国内預金や国内貸出金の増加により、安定した収益力を維持



高い健全性で、地域へ円滑かつ安定的に資金を供給

## 連結自己資本比率



### 地銀上位5行、23/9期

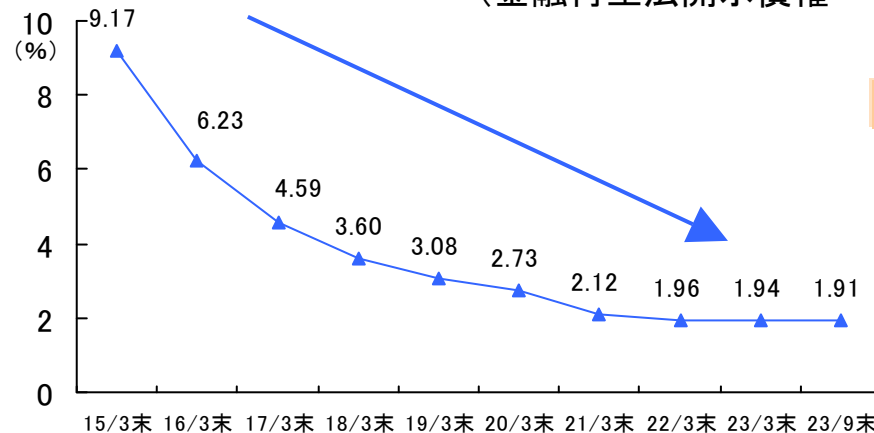
銀行名	比率
地銀B	17.15%
<b>千葉銀行</b>	<b>14.13%</b>
地銀A	13.57%
地銀D	13.43%
地銀C	13.20%

## 銀行格付比較

(平成23年12月末現在)

格付	銀行名
AA	静岡銀行
AA-	<b>千葉銀行</b> 横浜銀行 常陽銀行
A+	福岡銀行 群馬銀行 八十二銀行
	三菱東京UFJ銀行
	三菱UFJ信託銀行
	みずほ銀行
	みずほコーポレート銀行
	みずほ信託銀行
	三井住友銀行
	住友信託銀行
	りそな銀行
	埼玉りそな銀行
A	北陸銀行
A-	
BBB+	新生銀行 あおぞら銀行

## 不良債権比率 (金融再生法開示債権ベース)



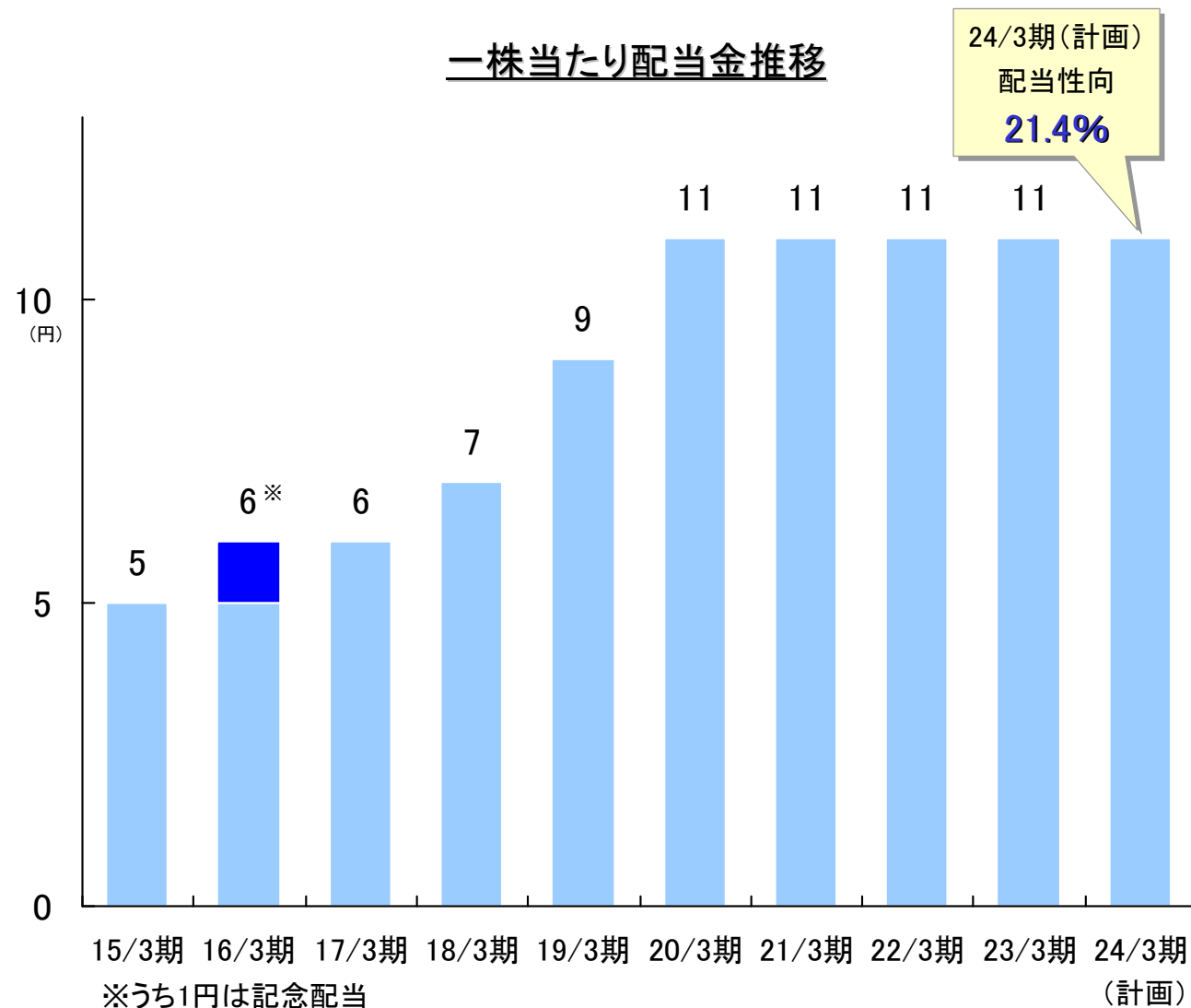
### 地銀上位5行、23/9期

銀行名	比率
<b>千葉銀行</b>	<b>1.91%</b>
地銀A	2.40%
地銀C	2.81%
地銀D	3.17%
地銀B	3.28%

格付投資情報センター※(R&I)による発行体格付  
※ 国内最大の格付機関

## 株主還元①

安定配当の考え方を維持しつつ、積極的に利益を還元



### 自社株購入①

(当行初)

22年9月

自社株取得を発表

22年10月

10百万株(50.6億円)を取得  
(発行済株式の1.1%)

### 自社株購入②

23年4月

自社株取得を発表

23年5月～6月

12百万株(58.2億円)を取得  
(発行済株式の1.3%)

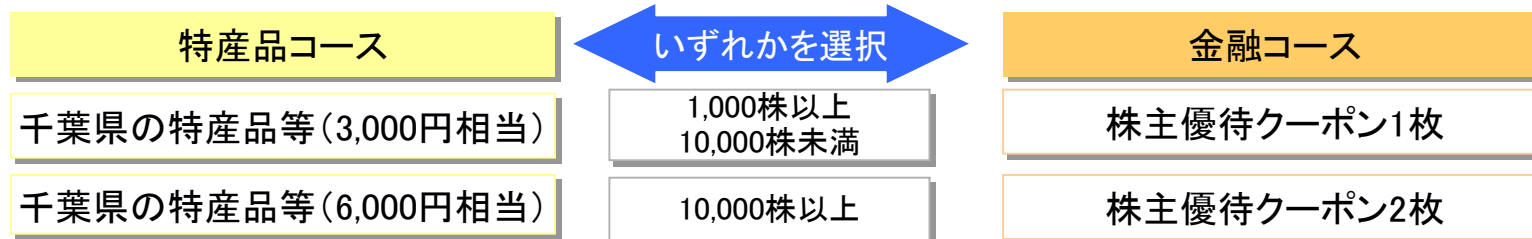
## 株主還元②

株主さまの幅広いニーズにお応えするため、株主優待制度を継続

### 株主優待制度

オリジナル株主優待カタログに記載の2コース（①特産品コース、②金融コース）のいずれかをお選びいただけます。

<優待基準(毎年3月末)>



#### 特産品コース

カタログに記載された千葉県の特産品等からお好みの商品をお選びいただけます。

<人気商品の例>



※写真はすべて3,000円相当カタログ掲載の商品

#### 金融コース

当行およびグループ会社が提供する金融商品・サービスの優待が受けられる株主優待クーポンをお送りいたします。

<株主優待クーポン1枚で受けられる優待内容>

1	定期預金金利0.2%上乗せ (上限500万円、期間1年)
2	外国通貨両替手数料20%割引 (上限100万円両替分[割引後レートで換算])
3	遺言信託引受承諾手数料(21万円[税込])20%割引
4	ちばぎん証券の国内上場株式売買委託手数料20%割引 (上限1万円)
5	ちばぎん総合研究所のセミナー受講料20%割引 (上限1万円)

※上記のいずれか1つをお選びいただけます

≫ 成長性に富む千葉県

≫ ≫ 千葉の成長と共に歩む千葉銀行

≫ ≫ ≫ 千葉銀行の営業施策

≫ ≫ ≫ ≫ 業績推移と株主還元

≫ ≫ ≫ ≫ ≫ **参考資料**



## (ご参考)平成23年3月期業績概要

	22/3期	23/3期	増減額	
1	業務粗利益	1,621	1,592	△ 29
2	資金利益	1,433	1,376	△ 56
3	役務取引等利益	141	141	△ 0
4	特定取引利益	30	11	△ 19
5	その他業務利益	16	63	46
6	うち債券関係損益	△ 9	39	49
7	経費(△)	803	807	4
8	実質業務純益	818	784	△ 33
9	一般貸倒引当金繰入額(△)	6	△ 4	△ 11
10	業務純益	811	789	△ 22
11	臨時損益	△ 277	△ 191	85
12	うち不良債権処理額(△)	257	162	△ 94
13	うち株式等償却(△)	3	36	33
14	経常利益	534	597	63
15	特別損益	64	43	△ 20
16	うち償却債権取立益	69	54	△ 15
17	当期純利益	362	381	19
18	実質信用コスト(△)	194	103	△ 90
19	連結経常利益	568	653	84
20	連結当期純利益	375	406	30

### 資金利益

	22/3期	23/3期	増減額
資金利益	1,433	1,376	△ 56
国内業務部門	1,396	1,347	△ 48
うち預貸金	1,255	1,215	△ 39
貸出金利息	1,373	1,290	△ 82
預金利息	117	74	△ 42
うち有証利息配当金	160	153	△ 7
国際業務部門	36	29	△ 7

### 役務取引等利益

	22/3期	23/3期	増減額
役務取引等利益	141	141	△ 0
役務取引等収益	313	317	3
うち投信+年金保険等	80	88	8
投資信託	39	47	7
年金保険等	40	40	0
うちATM関連手数料	39	35	△ 3
役務取引等費用(△)	172	176	3
うちローン関係費用(△)	102	106	3

株式等償却  
の影響除き

634

415

692

443

## (ご参考)平成23年9月期業績概要

	22/9期	23/9期	増減額
業務粗利益	812	781	△ 30
資金利益	695	679	△ 15
役務取引等利益	73	70	△ 3
特定取引利益	7	6	△ 1
その他業務利益	35	25	△ 10
うち債券関係損益	24	17	△ 6
経費(△)	400	399	△ 0
実質業務純益	412	382	△ 29
コア業務純益	388	365	△ 22
一般貸倒引当金純繰入額(△)	-	-	-
業務純益	412	382	△ 29
臨時損益	△ 75	△ 25	50
うち不良債権処理額(△)	79	△ 57	△ 137
うち株式等関係損益	△ 8	△ 95	△ 86
経常利益	336	357	20
特別損益	34	△ 2	△ 37
中間純利益	226	230	3
与信関係費用(△)	39	△ 57	△ 96
連結経常利益	365	374	9
連結中間純利益	233	234	1

### 資金利益

	22/9期	23/9期	増減額
資金利益	695	679	△ 15
国内業務部門	680	665	△ 14
うち預貸金	608	596	△ 11
貸出金利息	651	625	△ 25
預金利息	43	28	△ 14
うち有証利息配当金	83	78	△ 4
国際業務部門	14	13	△ 0

期初計画

380

### 与信関係費用

	22/9期	23/9期	増減額
一般貸倒引当金純繰入額	△ 20	△ 93	△ 72
不良債権処理額	92	51	△ 40
新規発生	75	57	△ 17
担保下落等	16	5	△ 11
回収等	△ 7	△ 15	△ 8
その他処理	7	3	△ 3
償却債権取立益	△ 32	△ 16	16
与信関係費用	39	△ 57	△ 96

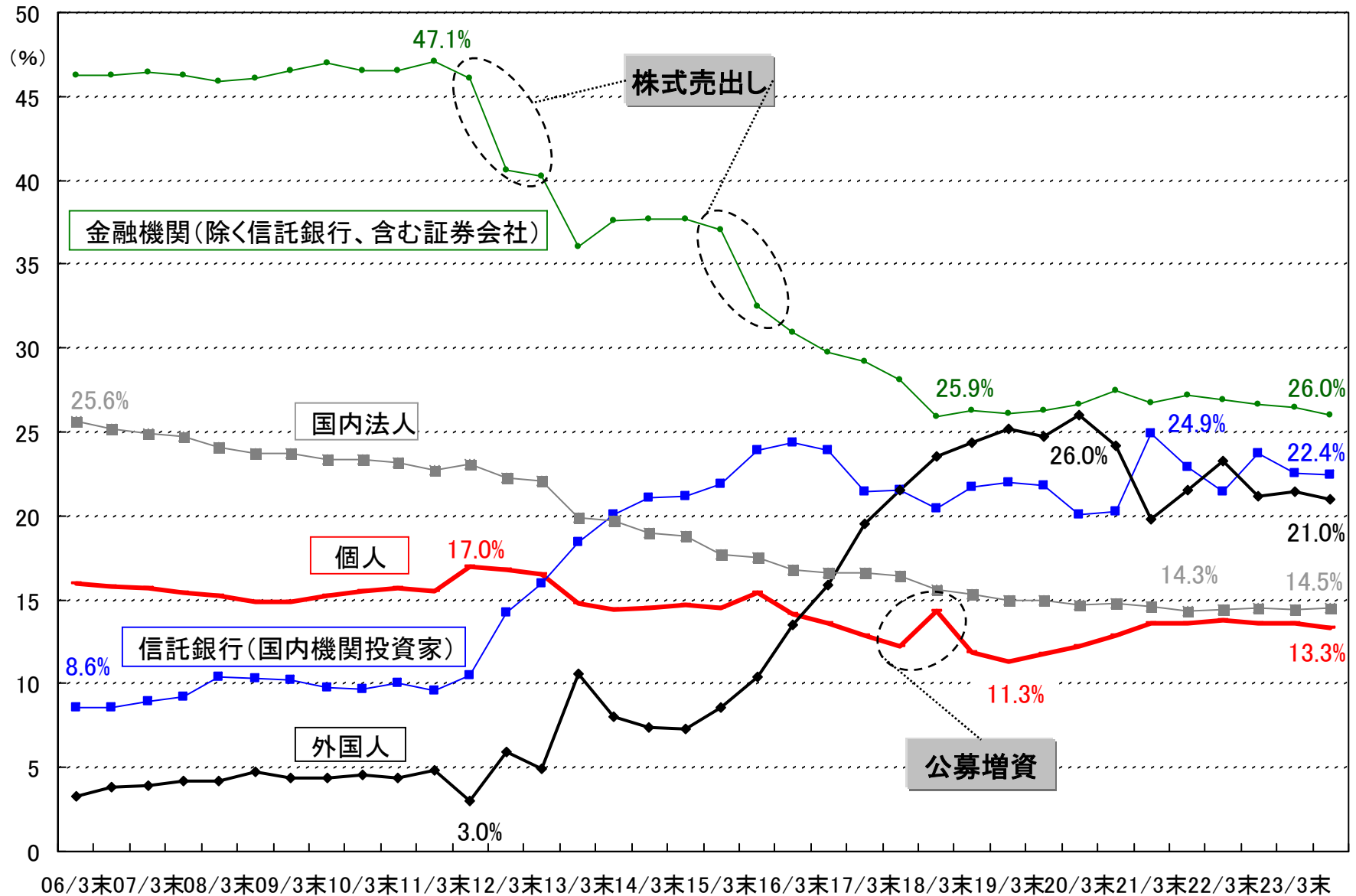
365

230

380

235

## (ご参考)株主構成の変化



本資料に関する  
ご意見、ご感想、お問い合わせは  
下記IR担当までお願いいたします。

株式会社 千葉銀行経営企画部(IR担当)

Tel: 043-301-8147

Fax: 043-242-9121

E-Mail: [ir@chibabank.co.jp](mailto:ir@chibabank.co.jp)

本資料は情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。

本資料に記載された事項の全部又は一部は予告なく修正又は変更されることがあります。本資料には、将来の業績にかかる記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化等により異なる可能性があることにご留意ください。